




第1回 帛の郷運営推進会議 会議録

園長	次長	係長	主任
			

令和 元年 5 月 9 日 (木)	司会	記録
	齋藤雅	齋藤雅

(午前) 午後 11 時 00 分 ~ 12 時 00 分 まで

<p>【出席者】</p> <p>鈴木辰衛・樋口玲子・大野廣榮・小松智維美・矢部園長・山田次長 小野友里子・齋藤雅子</p> <p style="text-align: right;">計 8 人</p>	<p>【欠席者】</p> <p>齋藤正隆・高橋勇次・小倉百合子 有本秀雄・原要助・大橋昇</p> <p style="text-align: right;">計 6人</p>
---	---

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
1.園長挨拶	○矢部園長よりあいさつ。
2.異動職員紹介	○「帛の郷たより春号」参照。山田次長就任挨拶。
3.施設概要	○4月からは入退居なく落ち着いている。 ○3月末から4月に掛け入居申込が増えている状況。
入居者の処遇の状況	○3月末異動の職員送別会を行った。職員も入居者の方と思い出をお話しすると涙腺が緩み涙と笑いに溢れた会となった。 ○春先になり、天候の良い日を見てお花見外出を楽しまれている。 満開の花を見て入居者の方から「キレイだ」との声があがっていた。
4.入居者の健康管理状況	○2月、3月に入院した方が4月に退院されその後は落ち着いている。 ○4月に入ってからインフルエンザ、ノロウィルスの情報があり動向を確認している。
5.事故・苦情等の状況	○誤薬の事故報告があり、それぞれ嘱託医へ報告し対応している。 再発予防に向け、再度リスク管理徹底している。 ○施設職員の対応について入居者より相談があった。施設内で解決しているが、再発がないよう接遇面での職員指導を徹底した。

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
7.地域ふれあい健康づくり事業について	○別紙チラシにて企画意図、内容を説明。
その他	⇒推進委員の方々より実施について了承を得た。
	質)施設概要のところの入居者全体数が違っているところがある。 ⇒こちらの確認不足。謝罪した。
	質)誤薬の事故報告は、薬の内容的には危ないものではなかったのか。 ⇒糖尿病薬等、服用により体調に大きな変化が出るようなものではな
	かった。ただ誤薬は命に関わる場合もあるので再発防止に努めたい。
	質)誤薬事故が気になる。ダブルチェックなどの体制が望ましい。 ⇒4月に入り職員の異動もあり確認が不足していた。内服配布については十分に注意し行っていく。
	意見)インフルエンザの流行が季節を問わず確認できる。季節が違っていても注意が必要。 ⇒他施設の発生状況等はどうか。最近報告はない。1.2年前の施設内で爆発的に流行したことをきっかけに感染症対応が徹底されたのでは
	ないか。
	意見)施設は職員だけではなく、家族の面会など出入りも多く大変だと思
	う。 ⇒体調の確認については、施設職員だけではなく職員の家族まで
	広く確認を行っている。施設内の流行を防ぐため注意している。
8.昼食試食会	質)日頃からこの程度の量があるのか。ボリュームがある。 ⇒昼食のカロリーが一番高い。入居者の方はほぼ全て召し上がっている。
	質)味の好みから醤油などを好きに掛けることはできるのか。 ⇒疾患等で問題なければ制限はしていない。ただ、そのような方ほど濃
	い味を好まれるので対応に苦慮する場面もある。 意見)ムースご飯が思ったより食べやすく驚いた。
【 懸 案 事 項 】	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク明けは、例年会議参加者が少ない傾向にある。 ・次年度以降ゴールデンウィーク後すぐではなく、1.2週置いてからの開催を検討する。

令和元年 5月 9日
於.帛の郷憩いのホール
11時00分～

令和元年度 第1回帛の郷運営推進会議次第

- | | | |
|----|-------------------------|-------|
| 1. | 開会あいさつ | 矢部園長 |
| 2. | 異動職員紹介 | 矢部園長 |
| 3. | 施設概要、入居者等の処遇の状況 | 斎藤主任 |
| 4. | 入居者の健康管理状況 | 山田次長 |
| 5. | 事故・苦情等の状況 | 山田次長 |
| 6. | 活動実績・今後の予定（4月～5月） | 山田次長 |
| 7. | 令和元年度 地域ふれあい健康づくり事業について | 斎藤主任 |
| 8. | 昼食試食会 | 小野栄養士 |
| 9. | その他(意見交換) | |

(次回開催 令和元年7月予定)

特別養護老人ホーム帛の郷 施設概要

1. 法人の概要

法人の名称 社会福祉法人 中東福祉会
 所在地 〒959-1865 新潟県五泉市本町6丁目7-7
 代表者 理事長 伊藤 苗
 設立年月日 昭和56年4月1日
 電話番号 0250-47-4500

2. 特別養護老人ホーム帛の郷の概要

事業所の名称 特別養護老人ホーム帛の郷
 サービスの種類 地域密着型介護老人福祉施設
 所在地 〒959-1865 新潟県五泉市本町6丁目7-7
 電話番号 0250-47-4300
 設立年月日 平成26年4月1日
 定員 29名(さくらユニット10名・ぼたんユニット10名・ゆきわりユニット9名)

3. 入居者地区別構成

地区	男性	女性	計
五泉地区	4	20	24
村松地区	1	4	5

4. 入居前状況

居宅サービス利用	老人保健施設	病院	他特養
15	6	5	3

5. 入居者食事状況

種別	男性	女性	合計
経口摂取	7	20	27
経管摂取	0	2	2

6. 入居者の要介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	0	1	3	1	5
女性	0	0	2	16	5	23
計	0	0	3	19	6	28

※平均介護度4.2

7. 入居者の年齢構成

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～
男性	0	1	0	1	1	0	2
女性	0	0	0	0	4	7	13
計	0	1	0	1	5	7	15

※最年少69歳

※最高齢100歳

※平均年齢88.4歳

8. 職員の状況

管理者	医師(嘱託)	生活相談員	看護職員	介護職員	機能訓練指導員	管理栄養士	介護支援専門員	その他	計
1	1	1(兼務)	4	16	1	1	1(兼務)	2	27

9. 待機者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	1	1	22	18	8	50
女性	4	9	46	42	17	118
計	5	10	68	60	25	168

10. 面会状況(延べ人数)

	さくらユニット	ぼたんユニット	ゆきわりユニット	計
H30年度合計	960	807	662	2049
H31年4月	88	51	58	197

11. 入退所状況

入退居なし

入居者の健康管理状況(平成31年3月1日～平成31年4月30日)

受診(往診)状況(延べ人数)

	呼吸器科	内科	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	精神科
3月	1			1				1		
4月								3	7	

入院状況

	呼吸器科	内科	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	眼科	歯科	皮膚科	精神科
3月		2								
4月		2								

・平成31年2月21日 腎盂腎炎で1名入院→4月5日 退院されました。

内訳 ・平成31年3月25日 熱発、高カルシウム血症等で1名入院→4/25退院されました。

その他 現在どのユニットも安定しております。

4月に入ってからインフルエンザやノロウイルス等の発症情報がありますので、今後も動向を確認しながら、皆様の健康管理に努めてまいります。

事故・苦情等の状況(平成31年3月2日～令和元年5月1日)

1、事故の状況(延べ数)

内容	件数
打ち身・内出血	11
擦り傷・切り傷・皮膚剥離	2
転倒・転落	0
誤飲・異食	0
誤配膳	2
誤薬	2
骨折	0
その他	0
合計	17

- ・内出血の件数が引き続き多くなっています。内服の関係上、通常の生活の中でも内出血が発生しやすい方も多いため引き続き介助方法、環境整備を合わせて支援していきます。
- ・他者の薬を職員が介助にて飲ませてしまう誤薬の事故が発生しています。2件とも囑託医へ指示を仰ぎその後の体調等には問題ありませんでした。声出し確認を確実にいき、リスク管理を徹底していきます。

2、ヒヤリ・ハットの状況(延べ数)

内容	件数
転倒・転落の危険	3
誤飲・異食の危険	2
誤配膳の危険	0
誤薬の危険	0
その他	1
合計	6

- ・2月から4月に掛け、5件の新規入居がありました。今回『ヒヤリハットで転倒、転落の危険』として上がって居る方はいずれも新規入居の方です。身体状況を把握しきれていない、環境の変化による精神的な不安により予想外の動作がみられたことでヒヤリハット報告としています。

3、苦情・相談の状況

内容	件数
苦情	0
相談	1
合計	0

- ・職員の対応について嫌な思いをしたということで、御本人様からお話がありました。その日出勤した職員に声掛けや対応について見直し・改善行うよう指導しました。また全職員対象に介護の専門職としての自覚を持ち自身の言葉かけや、介護にあたる態度、本人、家族の気持ちに寄り添った支援について、さらに職員同士声を掛け合い、互いに注意しあえる関係作りを行うよう指導いたしました。

帛の郷 平成31年4月活動実績

日	曜日	内 容
1	月	辞令交付式
2	火	
3	水	新潟県県議会議員選挙 不在者投票
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	ほたん園外出(ゆきわりユニット)
8	月	ほたん園外出(ほたんユニット)
9	火	
10	水	口腔指導
11	木	
12	金	花より団子隊(お花見カフェ)
13	土	お花見外出(粟島公園)
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	チューリップ外出(さくらユニット)
23	火	チューリップ外出(ほたんユニット)
24	水	チューリップ外出(ゆきわりユニット)
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	園内研修 高齢者虐待と身体拘束

帛の郷 令和1年5月活動実績

日	曜日	内 容
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	しゃくなげ園外出（さくらユニット）
5	日	
6	月	しゃくなげ園外出（ぼたんユニット）
7	火	ぼたん園外出（ゆきわりユニット）
8	水	ぼたん園外出（ぼたんユニット）
9	木	第1回 帛の郷運営推進会議 バケツ稲作作り
10	金	口腔指導
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	花植え

地域住民の皆様へ

帛の郷地域ふれあい健康づくり事業(第10回) (案)

健康講話

『最期の時まで自分らしく』 ～看取りを通して考える「生ききる」ということ～

特別養護老人ホーム帛の郷では、地域ふれあい健康づくり事業として、皆様が健康で安心して過ごせる地域作りを、お手伝い致します。

どなたでも参加いただけますので、ぜひご参加ください。

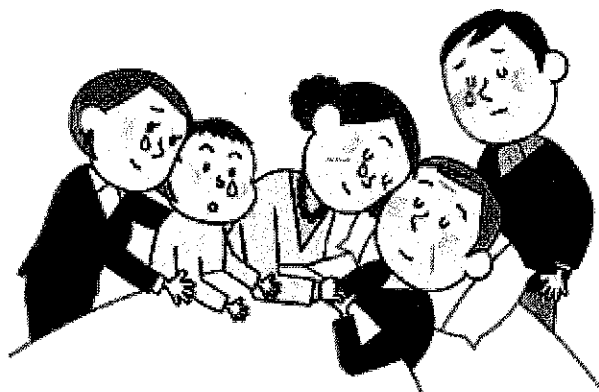
日時 令和元年7月6日(土) 14:00～15:30

会場 特別養護老人ホーム帛の郷 憩いのホール(五泉市本町6丁目7-7)

対象 どなたでも参加できます

参加無料

講師 講師: 小池 宜子氏(南部郷総合病院 緩和ケア認定看護師)



誰も避けられない「死」と向き合うとき、「生きる」ということについて、同時に考えさせられます。

今回は小池宜子先生を講師にお招きして、「命の最期」を迎えるまで「自分らしく生きる」ために大切なことを、分かりやすくお話していただきます。きっと心に残る講演となります。皆さまのご参加お待ちしております。

参加ご希望の方は、6月28日(金)までに直接帛の郷までご連絡ください。

当日、申込みのない方でも参加できますが、資料等の準備の関係で、なるべく事前に申し込みをしていただきますようお願い致します。

また、駐車場に限りがございますので、当日はなるべくお乗り合わせのうえご来園ください。

お問い合わせ先 特別養護老人ホーム帛の郷
電話 0250-47-4300
担当 斎藤雅子・高岡美里